

排泄情報センター

部長 後藤 百万 (教授)

高齢者の排泄障害対策に力を注ぐ

排泄管理向上による、特に高齢者のQOL改善を目指し、名古屋大学の知識・人材を活かした地域貢献を行っています。

業務体制

泌尿器科医師（兼務）2名、事務員1名の体制で以下の業務を行っています。

業務内容

行政、民間組織（NPO法人愛知排泄ケア研究会など）との連携のもとに、種々の排泄管理向上事業を行っています。講習会、市民公開講座開催、インターネットによる相談業務、排泄専門コメディカル養成事業、研究など。

得意分野

特に高齢者の排泄障害に関し、啓蒙・教育・情報提供・排泄管理に関する地域ネットワークの構築、相談事業などを行っています。

特色

ホームページ（チャンネルまる：<http://www.m-haisetsu.info/>）による情報の提供に加え、双方向相談システムの構築。排泄専門コメディカル（排泄機能指導士）の養成の実施。

業務実績

年1回の市民公開講座、年5回程度の地域講習会、2004年以降187名の排泄機能指導士の養成、高齢者排泄ケアガイドラインの出版、約200件のインターネット相談、年1回の排泄ケア排泄機能指導研究会などを行っています。

その他の取り組み

厚生労働省補助金長寿科学総合研究事業（2005～2007年度：後藤班）において、「老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発」を行いました。また、当センターの支援のもとに、愛知県碧南市において、地域包括支援センターを中心とした、病院、老人施設、訪問看護センター、医師会などによる地域排泄管理モデルの創設を行っています。



メディカルITセンター

センター長 吉田 茂 (准教授)

情報管理の面から病院運営を支える

当院の病院総合情報システム（電子カルテ）の開発、管理、運営を一元的に行っています。患者の個人情報を守り、質の高い医療を推進できるよう日々更なる開発を行っています。

業務体制

当院の病院総合情報システム（電子カルテ）の開発、管理、運営を事務部の情報システム掛、病歴管理室と連携をとりながら進めています。

業務内容

電子カルテの開発、管理、運営以外に、全職員へのITリテラシーの教育、臨床情報を用いた研究を推進しています。

特色

全国でも先進的なオブジェクト指向型データベースCacheを利用した大規模かつ安定したシステムを構築しています。また、FileMakerやYahgeeなどユーザーインターフェースに優れたソフトと連携することによってさらに幅広い業務を実現しています。

業務実績

国立大学病院として初めて汎用市販ソフト（FileMaker）と電子カルテとの連携を行い、各診療科に埋もれていた診療情報を統合することに成功しました。また、三階層の病院総合情報システムの構築に力を入れています。

その他の取り組み

電子カルテに入力されたデータの統計的な二次利用を、クリニカルデータウェアハウスを用いて試みています。臨床に役立つデータを解析し、診療の質向上に貢献していきたいと考えています。また次期開発に向けてCDSS（Clinical Decision Support System）臨床判断支援システムなどの構築を通して、使える電子カルテから賢い電子カルテへの実現を目指しています。

